

「理科探究」シラバス

学科	普通科	学年	2年	類型	I・II	組	1・2組	単位数	1
使用教科書	理科学習教材「探究」 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会編)								
副教材等	センサー化学基礎 (啓林館)								

1 学習の到達目標

身近な動植物や自然などの探究を通して、身近な自然環境への興味・関心を育み、科学的な自然観を身に付ける。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価要項により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	自然の事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。科学的に探究するために必要な実験操作など基本的な技能を身に付けているか。	(3) (4) (5) (6) (8) (9)
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し表現する能力が十分であるか。	(2) (4) (6) (8) (9) (10)
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心を持ち、主体的に関わり、見通しを持って考えるなど、科学的に探究しようとしているか。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (9) (10)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1) グループワークへの参加状況 (2) 教師の質問に対する応答 (3) 実験・観察に取り組む態度 (4) 実験ノート・プリント	
課題などの提出状況	(5) 日々の課題 (6) 長期休業中の課題 (7) 定期考査中の課題	
ペーパーテスト	(8) 定期考査 (9) 小テスト	
自己評価シート	(10) 自己評価シートによる振り返り	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評 価 項 目
一 学 期	第2章 身の回りの科学 第1節 愛媛の産業と科学	<ul style="list-style-type: none"> ・銅の精錬について理解する。 ・タオル産業について理解する。 ・炭素繊維について理解する。 ・ポリエステルリサイクルについて理解する。 ・紙産業や造船業について理解する。 ・マグロ養殖や真珠養殖について理解する。 ・ドロマイトや伊予大島石について理解する。 ・クリーンエネルギーについて理解する。 	(3) (4)
	第2節 愛媛の先駆者たち	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛の産業や科学分野において功績のあった人物の生き方などに学ぶ。 	(10) (6)
二 学 期	第3章 環境問題の学習 第1節 大気汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、光化学スモッグ、PM2.5について理解する。 	(3) (4)
	第2節 水質汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・河川や湖沼、地下水の汚染について理解する。 ・海洋の汚染について理解する。 	
	第3節 土壌汚染	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の働きについて理解する。 ・土壌汚染について理解する。 	(10) (6)
	第4節 生物多様性の破壊とその保全	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の重要性について理解する。 	
三 学 期	第5節 環境問題を学習して	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の破壊について理解する。 ・生物多様性の保全について理解する。 	(10) (6)
	第4章 観察・実験と研究 第1節 研究の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマの見つけ方について理解する。 ・研究の種類と進め方を理解する。 ・研究のまとめ方を理解する。 	

備考 (1) (2) (5) (7) (8) (9)については、全ての単元において評価項目として用いる。